

## 各種の経済的援助

### 1) 経緯

生徒の安否確認ができたのが1月23日、学校が再開されたのが神戸電鉄の運行再開を受けて2月8日でした。以降生徒たちの話を聞くなか、長田区と兵庫区を中心に多くの家庭で、経済的に大打撃を受けていることが明らかになってきました。

学校のほうでは、この生徒たちに対して何らかの援助をしようということで、2月中旬に検討を始めました。援助の柱は以下の4点です。

- [A] PTAからの震災援助金
- [B] 県教育委員会からの臨時の授業料減免措置
- [C] 県教育委員会からの教科書の無料支給
- [D] 独自の震災教育援助基金の設立

### 2) PTAからの震災援助金について

当初よりPTAよりありがたいお申し出をいただき、学校再開以前より調査はなされていきました。住居の全半壊焼の人を対象に、ひとり1万円を合計167名の者が2月に頂戴いたしました。

### 3) 県教育委員会からの臨時の授業料減免措置

臨時ということで、罹災証明があれば減免措置の対象となりました。以下の表がその内訳です。

	授業料免除	神戸市奨学金	育英会奨学金
48回生	68	47	7
49回生	57	40	6
50回生	66	未募集	未募集

### 4) 県教育委員会からの教科書の無料支給

総額28万円の援助がされました。教材すべてを賄うわけにはいかないので、教科書を中心に合計67名の者が3月に購入の援助28万円を受けました。現金の授受ではなく、学校のほうより業者に支払いをするという形をとりました。

### 5) 独自の震災教育援助基金の設立

学校では2月中旬より検討を始めましたが、どうあるべきかについてはかなり時間を要しました。結果的には、3月初旬には親蔭会（同窓会）とPTAの好意的な配慮により、両者の共同発起人ということで、卒業生を中心に募金を始めることになりました。

## ①（震災教育援助基金の概要）

[名 称] 夢野台高校震災教育援助基金

[代表発起人] 親蔭会会長 繁 田 愷  
PTA会長 岡 田 三 彦

[設立の趣旨]

兵庫県南部地震により県立夢野台高等学校在校生のなかで学校納付金等の免除措置の必要な生徒に対して教育援助金を支給し教育の機会の均等の保護に資する

[援助の対象]

- ◇ 全半壊および全半焼で罹災証明をもらったもの
- ◇ 家計の主たる維持者が失業したもの
- ◇ 上記には該当しないが援助を必要とするもの

[援助の内容]

- ◇ 学校納付金の免除
- ◇ その他

[援助の期間]

暫定的に平成7年度の一年間とするが期間の延長が生じた時には再度検討する

[募金の金額] 一口¥5,000円

[募金の方法] 所定口座に郵便振込

[事務局] 学校内の基金委員会

② (発起人一覧)

(第二高等女学校)

1期生-小田 清子  
3期生-白井喜美子  
5期生-宇賀 貞  
7期生-谷 迪子  
9期生-佃 良一  
11期生-吉田 禅子  
13期生-丹治 雅子  
15期生-吉村和歌子  
17期生-中野 直子  
19期生-高井 照江

2期生-藤井 澄枝  
4期生-広瀬 小枝  
6期生-白羽 宣  
8期生-横山 薫恵  
10期生-吉岡 房枝  
12期生-櫻村 綾子  
14期生-吉岡 佳子  
16期生-柴田 悦子  
18期生-加藤万里子  
20期生-高宮橋九栄

(夢野台高校)

3期生-立田 雅彦  
5期生-南出 英之  
7期生-木下(山川) 陽子  
9期生-岡田 稔  
12期生-福島 保利. 伊集院(魚住) 武子  
14期生-寺川 朋子. 谷口 紘一  
16期生-上本 通  
18期生-小西 規雄  
20期生-渡辺 正見. 高橋 年明  
22期生-八木 龍二  
24期生-住友 宏行  
26期生-吉見 洋  
31期生-上野 修  
33期生-有井(中崎) 真由美  
38期生-中村 一  
38期生-小泉 智士  
40期生-徳原 英世  
42期生-高田 優子  
44期生-矢尾 智  
46期生-江嶋 理恵

4期生-管田 洋. 若林 暎子  
6期生-吉本 範彦  
8期生-松井 脩  
10期生-山田 昌宏  
13期生-川端 耿一  
15期生-森 正文  
17期生-大林 和利  
19期生-左成 外記  
21期生-中西 敏美. 村瀬 裕一  
23期生-田中 康憲  
25期生-寺井 敬  
27期生-小野原 豊  
32期生-田坂 昌彦  
35期生-徳山 範夫  
37期生-森岡 礼次  
39期生-本多 淳二  
41期生-西川 敦子  
43期生-今城 淑子  
45期生-田島 功規

平成7年6月14日

保護者各位

## 夢野台高校震災教育援助基金について

兵庫県立夢野台高等学校

学校長 山根 邦雄

麦秋の候 皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。震災の余波のなか、ご苦勞の多い日々をお過ごしのことと拝察いたします。

さて、標記の件につきましてご案内させていただきます。多くの方々が被災されたことを鑑みて、本校では3月初めより、同窓生（親蔭会）・PTA会員・教職員などを中心に、「夢野台高校震災教育援助基金」の募金をお願いしてまいりました。反響も予想以上に大きく、遠く北海道や鹿児島も含めて、2000名を越えるご厚志をたまわりました。

つきましては、下記の要綱で基金を運用いたしますので、ご理解ご協力たまわりますようお願いいたします。

### 記

- (名称) 夢野台高校震災教育援助基金  
代表発起人—親蔭会会長、PTA会長
- (趣旨) 県立夢野台高等学校在校生のなかで兵庫県南部地震により被害を受けた生徒にたいし教育援助金を支給し教育の機会の保護に資するものとする
- (運用) ◇ 全半壊（焼）および失（休）業などの被災生徒に平成7年度の学年諸費および補助教材費の援助をおこなう（¥65000）  
◇ 申し込み書を提出→所定銀行等の口座に振り込む

---

### 夢野台高校震災教育援助基金 受給申し込み書

学校長様

夢野台高校震災教育援助基金の受給を申し込みます

1995年6月（ ）日

住所（ ）

（ ）年（ ）組（ ）番、生徒氏名（ ）

保護者氏名（ ）印

①	②	③

※学校備考欄（記入しないでください）

③ 基金決算書（平成7年8月16日現在、中間報告）

（収 入）		（支 出）	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
P T A（在校生）	580,770	震災援助金 （@65,000円×230人）	14,950,000
親蔭会（同窓会）	19,236,735	部活動交通費補助 （平成7年7月～8月の夏季休業中）	1,000,000
教職員	1,829,780	記録誌 （@440円×1,500部+3%分）	679,800
県立学校長協会	100,000	郵送料Ⅰ＝趣旨書発送費 （@80円×11,518通）	921,440
		郵送料Ⅱ＝決算書・礼状発送費 （@80円×2,200通）	176,000
		援助金振込手数料	115,566
		事務費＝ゴム印代金他	210,947
		次年度繰越金	3,693,532
（小 計）	21,747,285	（小 計）	21,747,285

（決 算）		
収 入		21,747,285
支 出		18,053,753
残 高		3,693,532

※ 残額については次年度の  
「震災教育援助基金」と  
して繰り越す

◇ 基金事務および経緯について

- 3月4日 震災教育援助基金要綱決定
- 3月25日～28日 趣意書などの発送準備  
クラス有志や吹奏楽部・ダンス部・本校卒業生などが積極的に協力してくれる
- 3月29日 趣意書（11,518通）発送
- 6月中旬 募金集約 ※個人（卒業生、教職員他） 2,112人  
団体（P T A、親蔭会、校長会、  
学年団、組合他） 9 口
- 7月1日 給付受給条件などの決定
- 7月中旬 震災基金給付 ※230人
- 9月下旬 礼状および決算書の発送